

# 仕様書

## 1. 事業名称

情報システム管理事業

## 2. 件名

令和8年度セキュリティ強靱化・グループウェア機器賃貸借

## 3. 目的

令和3年度に導入した LGWAN・インターネット間ネットワーク分離環境構築及びグループウェア・メール等システム機器の賃貸借期間満了に伴い、機器、システムの更新を行う。

## 4. 賃貸借期間

令和9年3月1日～令和14年2月29日（地方自治法第234条の3に基づく長期継続契約）

## 5. 納入場所

デジタル戦略課の指定する場所

## 6. 納入完了日

令和9年2月28日まで

## 7. 内容

#	項目名	内容	数量	単価	金額	備考
<b>機器部分</b>						
1	グループウェアサーバ	ラックマウント型サーバ	1			機器仕様①参照
2	メールサーバ	ラックマウント型サーバ	1			機器仕様②参照
3	仮想サーバ	ラックマウント型サーバ	1			機器仕様③参照
4	仮想サーバ	ラックマウント型サーバ	1			機器仕様④参照
5	ネットワークハードディスクドライブ	ラックマウント型	3			機器仕様⑤参照
6	DHCP	ラックマウント型	2			機器仕様⑥参照
7	L3スイッチ	ラックマウント型 24ポートスイッチ	2			機器仕様⑦参照
8	L2スイッチ	ラックマウント型 24ポートスイッチ	1			機器仕様⑧参照
9	管理端末	ノート型パソコン	2			機器仕様⑨参照
10	無停電電源装置	APC Smart-UPS X 3000 Rack/Tower LCD 100-127V オンサイト5年保証	2			
11	無停電電源装置	APC Smart-UPS 1500 RM 2U LCD 100V オンサイト5年保証	2			
12	無停電電源装置	Network Management Card 3	5			
13	ギガスイッチハブ	Giga 8ポート スイッチングハブ 電源内蔵金属筐体 マグネット付 ホワイト	1			

14	ギガスイッチハブ	Giga 対応 スイッチング Hub 金属筐体/電源内蔵モデル 16 ポートモデル	1			
15	LAN ケーブル	EU RoHS 指令準拠 ツメ折れ防 止 LAN ケーブル(Cat5E)/3.0m/ 簡易パッケージ仕様/ホワイト	8			
16	ファイアウォール	ラックマウント型ファイアウ ォール	1			機器仕様⑩参照
17	UTM	ラックマウント型 UTM	1			機器仕様⑪参照
18	ソフトウェア	PowerChute Network Shutdown 1 Node Windows & Linux	2			
19	ソフトウェア	PowerChute Network Shutdown 1 Node Virtualization	2			
20	ソフトウェア	Arcserve UDP 10.x Advanced Edition - Server - License Only	2			
21	ソフトウェア	Arcserve UDP Advanced Edition - Server -5 Years Maintenance [New]	2			
22	ソフトウェア	Arcserve UDP 10.x Advanced Edition - Socket - License Only	4			
23	ソフトウェア	Arcserve UDP Advanced Edition - Socket -5 Years Maintenance [New]	4			
24	ソフトウェア	Arcserve Media Kit (UDP/Backup/RHA/CRS)	1			
25	ソフトウェア(マイクロ ソフト)	【SiCSP】 Windows Server 2025 Standard -2 Core	96			
26	ソフトウェア(マイクロ ソフト)	【SiCSP】 Windows Server 2025 Standard -16 Core License Pack	4			
27	ソフトウェア(マイクロ ソフト)	【SiCSP】 Windows Server 2025 - 1 DeviceCAL	359			
28	ソフトウェア(マイクロ ソフト)	Single Language ガバメント OV 一括 初年度 Exchange Server Standard L&SA	1			
29	ソフトウェア(マイクロ ソフト)	Single Language ガバメント OV 一括 初年度 Exchange Standard CAL Device CAL L&SA	350			
30	グループウェア	desknet's NEO 年間サポート 400 ユーザー	5			
31	グループウェア	AppSuite ライセンス 300 ユー ザー	1			
32	グループウェア	AppSuite ライセンス 10 ユー ザー追加	1			
33	グループウェア	AppSuite 年間サポート 400 ユ ーザー	5			
34	メールセキュリティ		1			機器仕様⑫参照
35	プロキシ		1			機器仕様⑬参照
36	ファイル受け渡しシス テム		1			機器仕様⑭参照

37	専用ブラウザ		350			機器仕様⑮参照
38	アクセス制御ゲートウェイ		2			機器仕様⑯参照
39	プリントシステム	SecurePrint! Suite 基本サーバ年間利用料(オンサイト保守込み)	130			
40	プリントシステム	SecurePrint! Suite 基本サーバ年間利用料(オンサイト保守込み)	26			
41	プリントシステム	事前お打ち合わせ/作業準備/設定書作成等	1			
42	プリントシステム	サーバソフトウェア構築作業(日曜日想定)	1			
43	プリントシステム	翌営業日立会い(平日半日)	1			
44	プリントシステム	出張諸経費	1			
45	ADMS IDM・ADMS Lite	ADMS IDM・ADMS Lite その他作業費	1			
46	ADMS IDM・ADMS Lite	ADMS 年間保守&サポート(標準:ライセンスの18%)	5			
47	構築及び設定費用	プロジェクト管理	4			
48	構築及び設定費用	既存環境調査及び要求確認、要件定義(強靱化関連 SV)	1			
49	構築及び設定費用	基本設計(強靱化関連 SV)	1			
50	構築及び設定費用	詳細設計(強靱化関連 SV)	1			
51	構築及び設定費用	サーバラッキング作業	1			
52	構築及び設定費用	物理サーバセットアップ・構築	2			
53	構築及び設定費用	仮想ホストサーバセットアップ・構築	2			
54	構築及び設定費用	仮想ゲストサーバセットアップ・構築	11			
55	構築及び設定費用	バックアップソフトインストール・基本設定	7			
56	構築及び設定費用	Active Directory サーバ構築・移行	2			
57	構築及び設定費用	フォイルサーバ構築・移行	1			
58	構築及び設定費用	ウイルス対策サーバ構築・移行	1			
59	構築及び設定費用	プロキシサーバ・構築	1			
60	構築及び設定費用	プロキシログレポートサーバ構築	1			
61	構築及び設定費用	インターネット分離 関連作業	1			
62	構築及び設定費用	ファイル無害化関連作業	1			
63	構築及び設定費用	メール無害化システム 関連作業	2			
64	構築及び設定費用	メールアーカイブシステム 関連作業	1			
65	構築及び設定費用	WSUS サーバ 調整	1			
66	構築及び設定費用	バックアップサーバ 構築	3			
67	構築及び設定費用	既存環境調整	1			
68	構築及び設定費用	サーバ廃止・調整	9			
69	構築及び設定費用	サーバアンマウント・撤去	1			
70	構築及び設定費用	管理用パソコン セットアップ	2			

71	構築及び設定費用	クライアント PC 設定調整費	350			
72	構築及び設定費用	ドキュメント作成	1			
73	構築及び設定費用	管理者教育	1			
74	構築及び設定費用	Exchange 設定費	1			
75	構築及び設定費用	desknet's NEO 設定費	1			
76	構築及び設定費用	行政強靱化更改 (構築)	1			
77	小計					
78	消費税(10%)					
79	機器部分合計					
<b>保守部分</b>						
80	機器保守	C9300-24T-A	10			
81	機器保守	C9200L-24T-4G-E	10			
82	運用保守	LG 強靱化システム関連保守 (SV) 一式	5			
83	運用保守	行政強靱化更改 運用支援	5			
84	運用保守	行政強靱化ファイアウォールバージョンアップ	5			
85	小計					
86	消費税(10%)					
87	保守部分合計					
<b>機器部分+保守部分</b>						
88	機器部分小計	税別				
89	機器 5 年リース見積	税別				
90	機器 5 年リース見積	税込				
91	保守部分小計	税別				
92	保守部分 5 年リース見積	税別				
93	保守部分 5 年リース見積	税込				
94	5 年リース月額見積り	税別				
95	5 年リース月額見積り	税込				
96	5 年リース総額見積り	税別				
97	5 年リース総額見積り	税込				

## 8. リース機器仕様

機器については以下の仕様と同等及び相当品以上とすること。

### ① グループウェアサーバ

項目	仕様
形状	ラックマウント型 1U
OS	Windows Server 2025 Standard
CPU	Intel ® Xeon® 6 パフォーマンス 6369P 3.30GHz 以上
コア数/スレッド	8C/16T 以上
メモリ	64GB UDIMM 5600MT/s 以上
コントローラ	RAID コントローラ (RAID 0、1、5、6、10、50、60)
ストレージ(OS 領域)	480GB SSD SATA ×2 以上

ストレージ(データ領域)	2.4TB HDD SAS ISE 12Gbps 10K 512e ×4 以上
ラックレール	ケーブルマネジメント付きスライドレール
LAN	クワッドポート 1GbE Base-T アダプター 以上
パネル	フロントベゼル必須
インターフェース	アナログ RGB×1、USB3.0×1、iDRAC 専用ポート×1 以上
電源	冗長構成とすること 600W 以上 (ホットプラグ対応)
保証	Disk 返却不要 4時間 オンサイト保守サービス (5年間)

## ② メールサーバ

項目	仕様
形状	ラックマウント型 1U
OS	Windows Server 2025 Standard
CPU	Intel ® Xeon® 6 パフォーマンス 6511P 2.3GHz 以上
コア数/スレッド	16C/32T 以上
メモリ	128GB RDIMM, 6400MT/s 以上
コントローラ	RAID コントローラ(RAID 0、1、5、6、10、50、60)
ストレージ(OS 領域)	480GB SSD SATA ×2 以上
ストレージ(データ領域)	2.4TB HDD SAS ISE 12Gbps 10K 512e ×4 以上
ラックレール	ケーブルマネジメント付きスライドレール
LAN	クワッドポート 1GbE Base-T アダプター 以上
パネル	フロントベゼル必須
インターフェース	アナログ RGB×1、USB3.0×1、iDRAC 専用ポート×1 以上
電源	冗長構成とすること 800W 以上 (ホットプラグ対応)
保証	Disk 返却不要 4時間 オンサイト保守サービス (5年間)

## ③ 仮想ホストサーバ 1

項目	仕様
形状	ラックマウント型 1U
OS	Windows Server 2025 Standard
CPU	Intel Xeon Silver 4514Y 2GHz 以上 ×2
コア数/スレッド	16C/32T 以上
メモリ	32GB RDIMM, 6400MT/s 以上 ×8
コントローラ	RAID コントローラ(RAID 0、1、5、6、10、50、60)
ストレージ(OS 領域)	480GB SSD SATA 以上 ×2
ストレージ(データ領域)	1.2TB HDD ISE SAS 12Gbps 10k 512n 以上 ×6
LAN	クワッドポート 1GbE BASE-T アダプター ×2
パネル	フロントベゼル必須
インターフェース	アナログ RGB×1、USB3.0×1、マネージメント用 LAN コネクタ×1 以上
電源	冗長構成とすること 800W 以上 (ホットプラグ対応)
保証	Disk 返却不要サービス 4時間 オンサイト保守サービス (5年間)

④ 仮想ホストサーバ 2

項目	仕様
形状	ラックマウント型 1U
OS	Windows Server 2025 Standard
CPU	Intel Xeon Silver 4514Y 2GHz 以上 ×2
コア数/スレッド	16C/32T 以上
メモリ	32GB RDIMM, 6400MT/s 以上 ×8
コントローラ	RAID コントローラ(RAID 0、1、5、6、10、50、60)
ストレージ(OS 領域)	480GB SSD SATA 以上 ×2
ストレージ(データ領域)	1.2TB HDD ISE SAS 12Gbps 10k 512n 以上 ×6
LAN	クワッド ポート 1GbE BASE-T アダプター ×2
パネル	フロントベゼル必須
インターフェース	アナログ RGB×1、USB3.0×1、マネージメント用 LAN コネクタ×1 以上
電源	冗長構成とすること 800W 以上 (ホットプラグ対応)
保証	Disk 返却不要 4 時間 オンサイト保守サービス (5 年間)

⑤ ネットワークハードドライブ (3 台)

項目	仕様
形状	ラックマウント型(1U)
CPU	AMD Ryzen V1500B クアッドコア 2.2GHz 以上
メモリ	16GB 以上
搭載ベイ数	3.5 インチ SATA ドライブ ×4 ベイ
アレイ構成	RAID5
ハードディスク構成	RAID5 構成時実容量 36TB 程度
対応ファイルシステム	Btrfs
ネットワーク	Gigabit Ethernet (RJ-45) ×4
電源	冗長構成とすること
ハードウェア保守	5 年平日 9:00-17:00 (祝日および年末年始を除く) オンサイト保守
ラックレール	付属すること

⑥ DHCP サーバ (2 台)

項目	仕様
形状	ラックマウント型
DHCP 基本性能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ DHCPv4 サーバ機能：IPv4 アドレスの自動割り当てが可能であること</li> <li>・ 複数スコープの設定：複数ネットワークセグメントに対して独立した DHCP スコープを設定できること</li> <li>・ 予約 IP アドレス割り当て：MAC アドレスに基づく固定 IP 割り当てが可能であること</li> <li>・ リース管理機能：リース情報の確認、リース期間の設定、強制解放が可能であること</li> </ul>

ネットワーク機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レイヤ 2/レイヤ 3 機能のフルサポート：VLAN、STP、LACP、OSPF、BGP などの標準プロトコルをサポートすること</li> <li>・VXLAN / EVPN 対応：仮想化基盤におけるオーバーレイネットワーク構築が可能であること</li> <li>・大規模ルーティング対応：データセンター規模のルーティングテーブルを保持できるメモリ容量を有すること。</li> </ul>
セキュリティ機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクセス制御機能：ACL、ポリシーベース制御、端末認証などのセキュリティ機能を備えること</li> <li>・暗号化通信の可視化：暗号化トラフィックの異常検知が可能であること</li> </ul>
運用管理機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ログ管理・監査機能：DHCP 要求・割り当て履歴をログとして取得できること</li> <li>・クラウド管理基盤との連携：設定管理、監視、ログ分析をクラウドベースで実施できること</li> <li>・API による自動化：DHCP 設定やリース情報を API 経由で取得・変更できること</li> </ul>
保守要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・24 時間 365 日のハードウェア保守：障害発生時に迅速な交換対応が可能であること。</li> <li>・ソフトウェアアップデート提供：セキュリティパッチおよび機能改善のアップデートが提供されること。</li> <li>・テクニカルサポート：専門技術者による問い合わせ対応が可能であること。</li> </ul>

⑦ ラックマウント型 24 ポートスイッチ（スタック構成）（2 台）

項目	仕様
形状	ラックマウント型 1U
インターフェース	10/100/1000 ポート ×24 を有していること
AutoMDI/MDI-X	AutoMDI/MDI-X に対応していること
スタック構成	StackWise-480 テクノロジーでのスタック帯域幅が 480 Gbps 以上であること
StackPower	StackPower テクノロジーを使用して、スタックの電源をすべてのスイッチ間で共通のリソースとして共有できること
スイッチング容量	208Gbps
MAC アドレスの総数	32,000
IPv4 ルートの総数 (ARP + 学習ルート)	32,000 (24,000 の直接ルート、8000 の間接ルート)
VLAN ID 数	4096
スイッチ仮想インターフェース (SVI) 総数	1000
LACP	LACP により IEEE 802.3ad に準拠したデバイスを使用して、イーサネット チャネリングを作成できること
STP	STP、RSTP、MSTP が実装できること
UDLD	UDLD および Aggressive UDLD によって、光ファイバ ケーブルの接続ミスまたはポート障害に起因する単一方向リンクを検出し、光ファイバ インターフェースを無効にすることができること
自動回復機能	スイッチ ポートの自動回復機能 (Errdisable) により、ネットワーク エラーにより無効になったリンクを再びアクティブにできること

その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高度なネットワーク分析・可視化機能を有すること</li> <li>・クラウド連携による運用自動化が可能であること</li> <li>・暗号化通信の異常検知が可能であること</li> <li>・ゼロトラストに対応した動的セグメンテーションが可能であること</li> <li>・24/365の保守サポートおよび迅速な交換対応が可能であること</li> </ul>
---------	---

⑧ ラックマウント型 24 ポートスイッチ (1 台)

項目	仕様
形状	ラックマウント型 1U
インターフェース	10/100/1000 ポート×24 を有していること
アップリンク	4×1G 固定
AutoMDI/MDI-X	AutoMDI/MDI-X に対応していること
スイッチング容量	56Gbps
VLAN ID 数	4096
LACP	LACP により IEEE 802.3ad に準拠したデバイスを使用して、イーサネット チャネリングを作成できること
STP	STP、RSTP、MSTP が実装できること
UDLD	UDLD および Aggressive UDLD によって、光ファイバ ケーブルの接続ミスまたはポート障害に起因する単一方向リンクを検出し、光ファイバ インターフェースを無効にすることができること
自動回復機能	スイッチ ポートの自動回復機能 (Errdisable) により、ネットワーク エラーにより無効になったリンクを再びアクティブにできること
その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高度なネットワーク分析・可視化機能を有すること</li> <li>・クラウド連携による運用自動化が可能であること</li> <li>・暗号化通信の異常検知が可能であること</li> <li>・ゼロトラストに対応した動的セグメンテーションが可能であること</li> <li>・24/365の保守サポートおよび迅速な交換対応が可能であること</li> </ul>

⑨ 管理端末 (2 台)

項目	仕様
形状	ノートパソコン
OS	Windows 11 Pro
CPU	Core-i5 1335U 以上
メモリ	16GB 以上
ドライブ	スーパーマルチ
ストレージ	PCIe SSD 256GB 以上
LAN	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T
無線 LAN	対応
液晶サイズ	15.6HD
インターフェース	HDMI ×1

⑩ ファイアウォール

項目	仕様
装置構成	管理/HA 用 GE RJ45 ポート：2 GE RJ45 ポート：8 5GE/2.5GE/GE RJ45 ポート：8 10GE SFP+ スロット：8 GE SFP スロット：4 USB ポート：1 コンソールポート：1
性能要件	IPS スループット：9Gbps 以上 NGFW スループット：7Gbps 以上 脅威保護スループット：6Gbps 以上 ファイアウォールスループット (64byte)：26Gbps 以上 同時セッション数：1,100 万以上 新規セッション数：40 万/秒以上 IPsec VPN スループット：36Gbps 以上 SSL-VPN スループット：3Gbps 以上
セキュリティ機能	AI/ML を用いた脅威検知 SSL/TLS (1.3 含む) インспекション アプリケーション制御、IPS、URL/DNS フィルタ ゼロトラストネットワークアクセス (ZTNA) マルウェア防御、仮想パッチ、データ漏えい防止 (DLP)
ネットワーク機能	VXLAN 対応 スイッチ連携機能 (最大 64 台) 無線 AP 管理機能 (最大 256 台)
ハードウェア要件	専用プロセッサ (SPU/NP/CP 相当) による高速処理 TPM (Trusted Platform Module) 搭載 冗長電源 (1+1 構成) 動作温度：0~40℃ ノイズレベル：48dBA 程度
管理機能	統合管理システム (クラウド/オンプレ) と連携可能 ログ管理、可視化ダッシュボード API による自動化対応
保守・サポート (5年)	24 時間 365 日対応のハードウェア保守 障害時の代替機先出しセンドバック、またはオンサイト保守
その他要件	19 インチラックマウント対応 国内電源仕様に適合 メーカーサポート (脅威情報更新、ファーム更新) が提供されること ネットワーク機器向けクラウド管理・ログ管理サービス

① UTM

項目	仕様
装置構成	管理/HA 用 GE RJ45 ポート：2 GE RJ45 ポート：8 5GE/2.5GE/GE RJ45 ポート：8 10GE SFP+ スロット：8 GE SFP スロット：4 USB ポート：1 コンソールポート：1
性能要件	IPS スループット：9Gbps 以上 NGFW スループット：7Gbps 以上 脅威保護スループット：6Gbps 以上 ファイアウォールスループット (64byte)：26Gbps 以上 同時セッション数：1,100 万以上 新規セッション数：40 万/秒以上 IPsec VPN スループット：36Gbps 以上 SSL-VPN スループット：3Gbps 以上
セキュリティ機能	AI/ML を用いた脅威検知 SSL/TLS (1.3 含む) インспекション アプリケーション制御、IPS、URL/DNS フィルタ ゼロトラストネットワークアクセス (ZTNA) マルウェア防御、仮想パッチ、データ漏えい防止 (DLP)
ネットワーク機能	VXLAN 対応 スイッチ連携機能 (最大 64 台) 無線 AP 管理機能 (最大 256 台)
ハードウェア要件	専用プロセッサ (SPU/NP/CP 相当) による高速処理 TPM (Trusted Platform Module) 搭載 冗長電源 (1+1 構成) 動作温度：0~40℃ ノイズレベル：48dBA 程度
管理機能	統合管理システム (クラウド/オンプレ) と連携可能 ログ管理、可視化ダッシュボード API による自動化対応
セキュリティサービス	アンチウイルス 不正侵入検知防御 (IPS) アンチスパム Web フィルタリング
保守・サポート (5 年)	24 時間 365 日対応のハードウェア保守 障害時の代替機先出しセンドバック、またはオンサイト保守
その他要件	19 インチラックマウント対応 国内電源仕様に適合 メーカーサポート (脅威情報更新、ファーム更新) が提供されること ネットワーク機器向けクラウド管理・ログ管理サービス

⑫ メールセキュリティ (MailFilter・Archive・Anti-Spam)

項目	仕様
全般(MailFilter)	国内で開発・販売されている製品で、日本語によるサポート対応が可能であること
	外部からの攻撃メールを受信したユーザーにそのリスク情報を通知する無償のサービスを提供していること
	動作環境として、Windows Server と Red Hat Enterprise Linux のいずれにも対応していること
	誤送信対策製品として「クライアント向け」「サーバ向け」「サービス」の製品・サービスを開発している国産メーカーであること
ネットワーク関連	メール通信プロトコルは SMTP だけでなく POP にも対応しており、メール暗号化方式として STARTTLS にも対応していること
送信元偽装判定	SPF 認証の技術と独自のロジックをベースに送信元アドレスの偽装を LAN 内環境に設置した場合でも判定可能なこと
	安全な差出人の「IP アドレス」と「ドメイン」をデータベースとして有し、データベースを利用して安全なメールのみを受信可能な機能を有すること。また、データベースに存在しない「IP アドレス」と「ドメイン」を収集し、精査した上でデータベースとして配信できること
添付ファイル偽装判定	特許技術により、添付ファイルが ZIP パスワードロックされている場合でもファイルの危険因子の判定が可能なこと
	電子メールの送信元、メール本文、添付ファイル、またはメール内のリンク先それぞれの要素に対して評価基準を定め、レベル判定を行うことで偽装か否か精度よく判断することができる技術を利用していること
メール・ファイル無害化	Office 文書、PDF 等のマクロ除去機能を有すること
	メール本文の無害化処理(添付ファイル削除、URL 含めたリンクの無効化、HTML メールやリッチテキストメールの本文テキスト化、Office 文書・PDF 等のマクロ除去)を実施したメールを配送が可能なこと
	異なるネットワークセグメントでファイル受け渡しを簡単にできるファイル転送ソリューションと連携し、自動で添付ファイルを連携先にアップロードし、添付ファイルの受け渡しをスムーズに行うことが可能なこと。
メールフィルタリング	送信メールの本文内埋め込みファイルや署名画像を添付ファイルとして扱う、または扱わないよう設定が可能なこと。
連携制御機能	メール添付ファイルの抽出 ファイル受け渡し装置への安全な転送 無害化処理の実行 処理結果に基づくメール配送制御 ログ・監査対応 連携設定管理
全般(Archive)	国内で開発・販売されている製品で、日本語によるサポート対応が可能であること
	動作環境として、Windows Server と Red Hat Enterprise Linux のいずれにも対応していること
	誤送信対策製品として「クライアント向け」「サーバ向け」「サービス」の製品・サービスを開発している国産メーカーであること

ネットワーク関連	メール通信プロトコルは SMTP だけでなく POP にも対応しており、メール暗号化方式として STARTTLS にも対応していること
メールフィルタリング	プライベートドメイン (@gmail.com や@yahoo.co.jp など) の個人利用のドメインをデータベース配信し、そのデータベースを利用して誤送信対策・アーカイブ検索が可能なこと
メールアーカイブ	メール疎通に影響を生じさせない終端型の構成が可能であること
	直前まで流通していたメールをリアルタイムに 1 つの管理画面で検索、また検索結果が確認可能なこと
	定期的な監査業務などに活用できる検索条件の保存が可能であること
	日時・宛先・差出人・本文・添付ファイルだけでなく、偽装メールの判定結果やプライベートドメインが含まれるかなどの検索条件が指定可能であること
アンチスパム全般	国内で開発・販売されている製品で、日本語によるサポート対応が可能であること
	動作環境として、Windows Server と Red Hat Enterprise Linux のいずれにも対応していること
	誤送信対策製品として「クライアント向け」「サーバ向け」「サービス」の製品・サービスを開発している国産メーカーであること
	アンチスパム機能として、世界規模でのリアルタイムなスパム監視によるデータベースを搭載していること
ネットワーク関連	メール通信プロトコルは SMTP だけでなく POP にも対応しており、メール暗号化方式として STARTTLS にも対応していること

### ⑬ プロキシ

項目	仕様
全般	ホームページの改ざんやマルウェア感染の疑いがある場合は通知する無償サービスを提供していること
	情報教育の支援機能には、定期的の問題が見直されるサンプル問題が付随していること
	YouTube 動画を動画 ID、チャンネル ID、ハンドル名を入力することで簡潔に制御設定が可能なこと、また、チャンネル ID を登録することでそのチャンネル内の動画 ID を自動取得する機能を有していること
	より業務や学習に集中できるように閲覧許可した動画以外を非表示にすることができ、サムネイル上での自動再生を防ぐことができること
外部攻撃対策	安全性が確認されている Web サイトへのアクセスのみを許可した場合に業務に影響なく利用できる仕組みを標準搭載していること
	インストール直後、初期設定にて DB に未登録の Web サイト・脅威情報サイト・改ざんサイトへのアクセスがそれぞれ専用のカテゴリにおいてブロックされる状態で提供されること
	ファイルの拡張子を条件にリスク別にファイルのダウンロード制限が可能であり、Web サイトにアクセスしただけでマルウェアに感染してしまう攻撃の対策ができること。
	同一メーカーのメールセキュリティ製品と連携し、メール本文・添付ファイル内の URL を受信前に DB でカテゴリ判定して即時ブロックできる連携機能を有すること

出口対策	<p>フィルタリングのDBが1営業日に最低4回は更新されること。</p> <p>また、出口対策用のDBを有し、以下の内容が含まれていること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界中のハニーポットや独自の探索システムで収集した実際のマルウェア挙動に基づいた情報</li> <li>・国内の企業、官公庁、公共団体などで「実際に確認された」マルウェアによるアクセス先情報</li> <li>・国内1,000台以上の監視センサー(FW/UTMなど)のログを元に相関分析された情報</li> <li>・専任のセキュリティアナリストによって分析精査された情報</li> <li>・メーカー独自に収集した、改ざんが行なわれている脆弱なWebサイトのIPアドレス/URLリスト(リストの情報は「改ざんサイト」カテゴリとして明示的にDBに登録・反映されること)</li> </ul>
その他外部攻撃対策	<p>脅威情報以外に、IT不正技術カテゴリなど、メール通知したいカテゴリを設定できること</p> <p>脅威情報サイトにアクセスしたクライアント端末をインターネットから隔離し、管理者へメール通知が可能なこと</p> <p>デコードなしでSSLセッションを張っている怪しい通信を一定期間で自動切断することが可能なこと</p> <p>Webサービスを機能ごと・組織ごとに制御する機能を有し、Webサービスごとの「ログイン、書き込み、アップロード」等操作ごとに制御でき、それらの設定は同一の管理画面上のボタン1つで簡潔に実施できること。</p> <p>Webサービスにログイン後のページもカテゴリ判定が可能なこと</p> <p>Webサービスが取得している認証を表示し、ISMAP等の国内認証を含めて取得認証ごとに表示・絞り込み検索・制御が可能なこと</p> <p>Google Workspace/Microsoft365/Box/AWS/LINE for Business/Dropbox/Slack/Webex/Apple/OpenAI ChatGPT/Microsoftアカウントにおいて、個人アカウント・テナントの利用を制御できること</p> <p>上記機能はHTTPSサイトであっても別途SSLアクセラレータ製品を用意せずに標準機能で実現できること</p>
内部情報漏えい対策	<p>POSTのログが一括エクスポートできること</p> <p>指定したドメイン・アカウント以外の生成AIへのログインを制御することが可能なこと</p> <p>生成AIアクセス時の警告画面の内容やブロックが推奨される単語について、独自のテンプレートがあること</p> <p>生成AIの質問内容を単語単位で制御し、フィルタリングアクションとして、許可/ブロック/監視/マスクングから選択できること</p> <p>生成AIでの「質問内容」「回答内容」両方のログを取得できること</p>
WEB フィルタリング機能	PICS規格のラベル情報を含んでいる場合のPICSレベル閾値設定が可能
SSL デコード	<p>SSLデコード対象をWebサービスに限定し、ルールパーツで条件設定が可能なこと</p> <p>Windows Update等、SSLデコードにより正しく動作しなくなる通信を自動で除外することで管理者の負荷軽減が可能なこと。なお、除外設定はボタン1つで簡潔に有効/無効の切り替えが可能なこと</p>
ログ・レポート	アクセスログの出力フォーマットがカスタマイズ可能で、ポリシーごとに適用するフォーマットも変更できること

ユーザー管理	グループごとに有効期間が指定でき、特定日以降フィルタリング開始とするグループ事前設定や、テンポラリのグループ作成が可能なこと
フィルタールール機能	特定の曜日・日付け・時間単位でフィルタリングルールの設定が可能なこと。また、祝祭日設定が可能であり、時間割プリセット機能を有していること。

⑭ ファイル受け渡しシステム

項目	仕様
基本機能	2つの異なるネットワーク間で、WEB ブラウザを利用したファイルの送受信機能を提供すること
	ファイルの送受信機能はユーザー本人に限定した送受信であること。1対多や本人以外との送受信は行えないこと
	ファイル無害化システムと連携する機能を提供すること。また複数の無害化システムに対応できること
	アクティブ/スタンバイ構成による冗長化が可能で、システムの設定情報を同期できること
	操作マニュアル、その他関連文書を日本語で提供すること
ファイル送受信機能	ファイルの選択はドラッグ&ドロップで行えること。なおドロップ可能な領域はブラウザの全領域で可能なこと
	ファイルを送る操作は、ファイルの選択のみで宛先や件名の入力を必要としないこと
	ファイルの送信時に第三者による承認が行えること。承認者は管理者もしくはユーザー自身によって複数指定でき、また承認者に対して任意のコメントを入力できること
	ユーザーはファイルをアップロードするごとに承認者を選択できること。その承認者は予め管理者によって指定できること
	メールアドレスを持たないユーザーもシステムに登録でき、ファイルの送受信が行えること
	ファイルのアップロード、ダウンロード、削除、承認要求、否認、受取可能などをメールで通知できること。また、無害化システムと連携している場合に、無害化処理失敗となった際にもメール通知されること
	ファイルの送信と受け取りの利用画面は1つにまとめられており、ファイル送受信が画面遷移無く1画面のみで利用できること
	送受信できるファイルは拡張子により指定でき、予め決められたものに限定できること
	異なるセグメント間でのファイルの受渡しにおいて、セグメント A から B へ、B から A へなどの方向性を指定できること
	ファイルの受渡しの方向性ごとに、無害化システムの利用有無および承認機能の利用有無を選択できること
	無害化システムと連携している場合において、パスワード付き (zip、Office、PDF) /パスワード無しファイル混在で複数ファイルを一括アップロードできること
	無害化システムと連携している場合において、ファイルが無害化された際は承認を不要にできること
	無害化システムと連携している場合において、ファイルが無害化できない際は承認を必要にできること。またはそのファイルを削除できること

	<p>無害化システムと連携している場合において、ファイルをアップロードする際、すべてのユーザーまたは特定のユーザーが無害化の実施有無を選択できること。</p> <p>また、無害化を実施しないファイルに対しては承認を必須にできること。</p> <p>無害化実施無しを選択できるユーザーは、無害化実施有り/無しファイル混在で複数ファイル一括アップロードできること。”</p>
	<p>無害化システムと連携している場合において、無害化できない、または無害化を実施しないファイルに対して、承認者割当て指定した承認者ではなくシステムで指定した特別承認者が承認を行えること。また、特別承認者は複数登録できること。</p>
	<p>無害化システムと連携している場合において、ファイルの受渡しの方向性ごとに、無害化システムで使用する無害化処理設定を指定できること</p>
	<p>ファイルダウンロード時に複数ファイルを一括でダウンロードできること</p>
ファイル送受信のセキュリティ機能	<p>システムの利用は、ユーザー認証によるシステムへのログインを行なった後に可能となること</p>
	<p>ユーザー認証は、ローカル認証、Active Directory 認証、クライアント証明書認証のいずれにも対応していること</p>
	<p>Active Directory 認証を利用する場合、統合 Windows 認証により、Windows ドメインにログオン済みのユーザー端末 (Web ブラウザ) が持つ Windows の資格情報を利用し、ID/パスワードの入力を省略したログインができること</p>
	<p>クライアント証明書を用いて、ID/パスワードと併用した二要素認証、または ID/パスワードが不要な自動ログインが利用できること</p>
	<p>パブリック証明機関が発行したサーバ証明書に対応し、暗号化通信が可能であること</p>
	<p>ユーザーからのアクセスは、IP アドレスおよび IP アドレス範囲で制限できること</p>
	<p>ユーザーからのアクセスがプロキシなどを経由した際、クライアントの送信元 IP アドレスが特定できる場合には、クライアントの送信元 IP アドレスでのアクセス制御が行えること</p>
	<p>アップロード時にファイルに対するウイルスチェックを行う仕組みを有すること。また、パスワード付き ZIP ファイル/パスワード無しファイル混在で複数ファイルを一括アップロードできること</p>
サービス管理機能	<p>外部連携項目・仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファイル転送システム連携 (Windows)</li> <li>・手動ログインなしでファイル転送操作が可能</li> <li>・ブラウザ内ダウンロードフォルダから複数ファイルを送信可能</li> <li>・ファイル無害化システムとの連携に対応</li> </ul>
	<p>設定・管理は、全て日本語および英語の WEB インターフェイス (GUI) で行え、コマンドによる設定が必要な項目はないこと</p>
	<p>設定情報を 1 ファイルにバックアップし、そのファイルをリストアできること</p>
	<p>設定情報のバックアップは任意のタイミングで行えるほか、指定したサーバに定期的に自動アップロードすること</p>
	<p>アップロードされたファイルの保存期間を定義できること。保存期間を超過したファイルは自動的に削除されること</p>

	<p>ファイルの受渡しの方向性ごとに、アップロード可能なファイルの拡張子の指定やアップロード毎のサイズ制限ができること。またファイルの拡張子と MIME タイプ内容が一致していないファイルのアップロードを禁止できること</p> <p>未承認のままのファイル保存期間を定義できること。保存期間を超過したファイルは自動的に削除されること</p> <p>システムが発信するメール通知文書を管理者が任意にカスタマイズできること</p> <p>ログイン画面および操作画面の製品ロゴマークのカスタマイズ機能を有すること</p> <p>ファイルの送信と受け取りの利用画面を複数の配色デザインから選択できること</p>
ユーザー管理機能	<p>ユーザー管理画面を有し手動操作によりユーザーを登録・変更・削除ができること</p> <p>グループ管理画面を有し手動操作によりグループを登録・変更・削除ができること</p> <p>グループにユーザーを所属させて共通の承認者を指定できること</p> <p>複数のユーザー登録情報を CSV ファイルにエクスポートができること</p> <p>CSV ファイルによるユーザーのインポート(一括登録・変更・削除)ができること</p> <p>次の各種ユーザー情報の CSV ファイルを Windows 端末のコマンドライン上からインポートまたはエクスポートできること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユーザー、グループ、管理者、承認者、無害化スキップを許可するユーザー</li> </ul> <p>ユーザー情報は Active Directory と連携し自動登録、認証できること</p> <p>グループ情報は Active Directory と連携し、セキュリティグループを本システムのグループとして登録できること</p> <p>Active Directory と連携してグループを登録した場合、そのセキュリティグループに所属するユーザーも本システムのグループに所属するユーザーとして登録できること</p> <p>分離された2つのネットワーク毎に異なる Active Directory が利用でき、同一ユーザーのアカウント名が各 Active Directory で異なっても利用できること</p>
システム管理機能	<p>機器の更新版ソフトウェアを平易な操作で適用できること</p> <p>システムの利用状況や統計情報を管理者が参照できること</p> <p>ファイル転送の操作はすべて履歴を残すこと。履歴とは日時、ファイル名、操作内容、操作者、IP アドレスを指し、これを操作画面上で表示できること。またこれを CSV に出力できること</p> <p>操作履歴の CSV ファイルを Windows 端末のコマンドライン上からエクスポートできること</p> <p>操作ログを Syslog サーバに転送できる機能を有すること。また、Syslog サーバは複数指定でき TCP 及び UDP に対応していること</p> <p>障害発生時、問題を特定するためのシステム情報(診断情報)を収集する機能を有すること</p> <p>システムツールとして、ping、traceroute、nslookup、dig を含むネットワークコマンドを提供し、通信確認ができること。また、パケットキャプチャ機能を有し、インターフェースごとにパケットが取得できること</p>

	アップロードされたファイルを証跡として保存する仕組みを持つこと。証跡として保存するファイルは、通常使用するデータ保存領域（メインストレージ）ではなく、証跡専用のストレージに格納すること。また、無害化システムと連携している場合に、無害化されたファイルも証跡として保存できること
セキュアブラウザ連携	Windows で動作する専用のセキュアブラウザと連携すること
	ファイル送受信システムにログインすることなくセキュアブラウザからファイルを送る操作ができること
	Windows で動作する連携セキュリティブラウザを用いた場合、セキュアブラウザ内にダウンロードしたファイルを、セキュアブラウザ内のダウンロードフォルダから数クリックの操作でファイル送受信システムに送信できること。また、送信するファイルは複数指定して送信が可能であること。この際、無害化実施有無の選択を許可されたユーザーの場合、無害化実施の有無を指定して送信が可能であること
メールセキュリティシステム連携	メールセキュリティシステムと連携する機能を提供すること
	メールセキュリティシステムと連携する場合において、メールセキュリティシステムは、ファイル送受信システムの利用ユーザーに代わり、ファイル送受信システムへファイルをアップロードできること
物理アプライアンス仕様	調達時にバージョンアップやモデルチェンジ等による後継製品(型番変更品)がリリースされている場合は、サポート終了時期等を鑑み、新しい方の製品を納入すること
	専用ハードウェア、専用 OS で動作するアプライアンスシステムであること
	EIA 規格 19 インチラックに固定可能であること。ラック占有は 1RU 以下であること
	パワーサプライは冗長構成になっていること
	内蔵のフラッシュメモリによる OS 起動機能を有すること
	ネットワークカードは 10/100/1000BASE-T(X)のインターフェースを 4 つ以上有し、分離された 2 つのネットワーク、管理端末をそれぞれ異なるインターフェースに接続できること
	分離ネットワーク用の 2 つネットワークインターフェイスへの通信は各 LAN ポートで終端され、ポートをまたぐ通信は行えないこと
	データ保存領域として、ハードディスクドライブを 2 本以上搭載し、RAID1 で構成すること
	機器前面に液晶表示器を有し、ホスト名、IP アドレス、システムの稼働状況、及びハードディスクドライブの状態を確認できること
	シリアルコンソールポートを有し、機器の設定管理の WEB インターフェースが利用できない場合でもコンソールによる機器の状態復旧が試行できること
無害化処理	ファイルを分析し、スクリプトやマクロや OLE オブジェクトなどリスクの高い因子について、総務省ガイドラインの無害化処理要件を満たす無害化処理機能を有すること
	無害化後のファイルの操作性(編集・加工)やアプリケーションの適合性を保持するため、無害化処理前と処理後で 75%以上はファイル拡張子が変わらないこと。なお無害化処理についてはファイル構造を解析して、内部構造に含まれるファイル要素も無害化処理して再構成する処理プロセスを要件とし、この処理においてファイル拡張子が維持されること

	<p>無害化処理のポリシー設定については、アプリケーション単位にポリシー設定が可能であること(例：Microsoft Office の場合、Word/Excel/Powerpoint などの単位)</p> <p>無害化結果は、そのファイルが持つ要素 (Office ファイルの場合、埋め込みオブジェクトやマクロ、ハイパーリンクなど) ごとに確認が可能であること</p> <p>wmv / mpeg / wav / mp3 / mp4 / mov / avi / webm の動画ファイルタイプの無害化処理に対応すること</p>
無害化拡張子	<p>以下のファイルが無害化処理できること。</p> <p>&lt;文書ファイル&gt; Word (doc、docx、docm)、Excel (xls、xlsx、xslm)、PowerPoint (ppt、pptm、pptx、ppsm)、Word Viewer (rtf)、Visio(vsd)、一太郎文書 (jtd、jtdc)</p> <p>&lt;画像ファイル&gt; JPEG (jpg/jpeg)、PNG(png)、TIFF(tiff)、GIF (gif)、BMP (bmp)、Windows Metafile(wmf/emf)</p> <p>&lt;動画ファイル&gt; WMV(wmv)、MPEG(mpeg)、WAV(wav)、MP3(mp3)、MP4(mp4)、MOV(mov)、AVI(avi)、WEBM(webm)</p> <p>&lt;圧縮ファイル&gt; ZIP (zip)、RAR(rar)、7Z(7z)、GZIP(gz)、XZ (xz)、LZH (lzh)</p> <p>&lt;CAD&gt; AutoCAD (dwg)、AutoCAD Drawing Template (dwt)、AutoCAD Drawing Standards (dws)、SXF Feature Comment (sfc)、STEP Data Model (p21)、JW CAD(jww)、Drawing Interchange Format (dxf)、Design Web Format (dwf)、3D Studio (3ds)</p>
管理	<p>アクセス管理において Active Directory と連携が可能であること</p> <p>ログ情報を Syslog サーバに転送可能であること</p>
ファイル受渡しシステムとの連携機能	ネットワーク分離用ファイル受渡しアプライアンスと連携する機能を提供すること
その他	<p>利用者の端末に専用モジュールをインストールせずに、機能を提供すること</p> <p>VMware などの仮想サーバ上でも物理・ベアメタルリソース上と同様の動作が可能であること</p> <p>無害化エンジンを動かす実行機能分のサーバ以外に管理サーバ等必要としないこと</p>

⑮ 専用ブラウザ

項目	仕様
基本事項	<p>少なくとも Windows OS クライアント端末上で稼働する専用ブラウザを利用して、インターネット接続を実現すること</p> <p>専用ブラウザはクライアント端末上のリソース (CPU, メモリ) を使用し、別サーバ側のリソースを使う画面転送方式 (SBC) ではないこと</p>
通信・セキュリティ	<p>専用ブラウザ起動時、端末内の論理的に隔離された分離環境を作成し、専用ブラウザによって取得した分離環境からは端末本体の資源へアクセスができないように制御すること</p> <p>履歴・キャッシュはログアウト時に自動削除し、ブラウジングによって取得したデータを端末に残さないこと。また、バックグラウンド復帰時のキャッシュ削除までの時間を管理者が設定可能であること (0~9999 分)</p> <p>暗号化通信は TLS1.2/1.3 のみ許可すること</p> <p>指定アプリのみゲートウェイ接続を許可し、他社アプリからの接続は不可とすること</p>
認証・アプリロック	<p>ID/パスワード認証および クライアント証明書認証 (ChromeOS 除く)</p> <p>アプリロックはパスコード/パターン/英数字に対応</p> <p>生体認証 (Touch ID/Face ID/指紋) によるロック解除に対応</p> <p>ロック解除失敗時、キャッシュおよび接続設定を削除可能</p>
操作性・機能	<p>タブブラウジング、タブ移動、サムネイル表示に対応</p> <p>全画面表示、ジェスチャー操作 (進む/戻る)</p> <p>アドレスバー検索、検索エンジン選択</p> <p>管理者によるアドレスバー入力制限</p> <p>Web ページ内検索機能</p> <p>PDF・Office ファイルをアプリ外へ渡さず表示可能</p> <p>ピンチイン/アウトによる拡大縮小</p> <p>ZIP (パスワード付含む) 解凍対応</p> <p>Jailbreak/root 化端末の検知と接続拒否 (iOS/Android)</p>
コピー&ペースト制御	<p>他アプリへのコピー/他アプリからのペーストを管理者が制御可能</p> <p>ブラウザ内でのコピー&amp;ペーストは常に許可</p>
ブックマーク・ポリシー管理	<p>管理者によるブックマーク配布・固定</p> <p>ユーザー個人ブックマークの端末間同期</p> <p>スタートページにショートカット表示・固定が可能</p>
ファイル受け渡しシステムとの連携	<p>シングルサインオン連携</p> <p>専用ブラウザから指定のファイル転送システムへファイルをアップロード (送付) する際、ユーザーが手動でファイル転送システムへのログイン操作を行うことなく、シームレスに連携できること。</p> <p>簡易アップロード機能 (複数ファイル対応)</p> <p>専用ブラウザのダウンロードフォルダ内にあるファイルを、ブラウザ内の簡易な操作 (数クリック程度) で、連携するファイル転送システムへ直接送信できること。また、その際に複数のファイルを一括して指定・送信できること。</p>

⑩ アクセス制御ゲートウェイ

項目	仕様
管理機能	Web 管理画面（日本語／英語）で操作可能 暗号化通信、排他制御、セッションタイムアウト対応
認証	ID/パスワードは外部認証（AD/LDAP/RADIUS）を参照 LDAPS 通信に対応 クライアント証明書の CN をユーザー ID として利用可能（ChromeOS 除く）
アクセス制御・ログ	ホワイトリスト方式のアクセス許可リスト アクセスログを Syslog へ送信可能 RADIUS アカウンティング対応 非許可サイトアクセス時のエラーメッセージを管理者が変更可能
冗長化・負荷分散	Active-Standby 構成で冗長化、自動切替 外部ロードバランサー不要で負荷分散可能 障害発生時もブラウザ再起動なしで通信継続
ファイル無害化システムとの連携	無害化システムとの中継機能 専用ブラウザと連携するファイル転送システムは、庁内・自治体ネットワーク等のセキュリティ要件に基づき、外部の無害化システムと連携し、取り込むファイルの無害化処理（サニタイズ）を行える機能を有すること。
その他	複数接続先設定をブラウザ側で保持可能 ログイン時の ID/パスワードを複数サイトへ送出（SSO）

## 9. 作業内容

### (1) 全体事項

- (ア) 本業務の遂行にあたり必要な内容は蕪崎市担当者との十分な協議を行ったうえで実施すること。
- (イ) 既存環境（サーバ、ソフトウェア、ネットワーク等）における設定変更が必要な場合は、蕪崎市担当者と協議し、必要に応じて既存システム保守会社に業務委託を行うこと。
- (ウ) 構築において必要となる各種費用については契約に含めること。
  - ① 必要となるライセンス費用
  - ② 既存機器の撤去（機器の引き取り等）に関する費用
- (エ) その他
  - ① 既存システムからのデータ移行を行うこと、内容については協議のうえ決定すること。
  - ② 納品の際に発生する梱包材は責任を持って処分を行うこと。
  - ③ セキュリティを考慮し、情報処理安全確保支援士を保有する技術員が主任担当者として構築作業に臨むこと。
  - ④ その他一般事項については、協議のうえ決定すること

### (2) サーバ・システム環境構築

#### (ア) サーバ・システム共通項目

- 固有のソフトウェアまたは周辺機器等の設定を個別に行い、下記項目に加え適切に設定を行うこと。
- ① 管理者の指示に従い、必要なネットワーク設定を行うこと。
  - ② 既存のサーバ、ネットワーク環境を熟知した上で設計・構築を行うこと。
  - ③ ソフトウェア・ファームウェアなどについては、導入時の最新バージョンを基本とし、必要に応じて協議のうえ調整を行うこと。
  - ④ 山梨県情報セキュリティクラウドとの連携を考慮した構成とすること。
  - ⑤ 導入するサーバに対し可能となるウイルス対策を行うこと。

- ⑥ 導入する構成にて実施できるバックアップスケジュールを構成すること。
  - ⑦ サーバ以外の機器についても、ログを保管する仕組みを考慮すること。
  - ⑧ バックアップの対象および頻度、保存期間は協議のうえ決定すること。
  - ⑨ 無停電電源装置およびUPS 管理ソフトを利用し、停電対策を行うこと。
- (イ)ライセンスおよび既存機器の利用について  
以下については、既存のライセンスおよび機器を利用すること。
- ① クライアント/サーバ用 ウイルス対策ソフト
  - ② Microsoft Office
  - ③ グループウェア
  - ④ オンデマンド印刷
  - ⑤ 多要素認証
  - ⑥ ID 管理システム
  - ⑦ アカウント同期システム
  - ⑧ 既存メールアーカイブ
  - ⑨ WSUS サーバ
- (ウ)機器の設置について
- ① 導入機器は、既設 19 インチサーバラック (42U) 内に収納すること。
  - ② サーバルーム内の配線にかかる費用を含めること。
- (3) ネットワーク環境構築
- (ア)本事業の要件を満たすため、最適なネットワーク設計を行い、市担当者と協議のうえで構築を実施すること。
- (イ)今後のネットワーク構成の変更についても考慮した設計とすること。
- (ウ)セキュリティを考慮し、分割された各セグメント間の通信は、必要最低限の通信のみに制限し、不要な通信はすべてブロックするように設計すること。
- (エ)各セグメント間及びサーバ接続に利用するスイッチへの接続は冗長構成を基本とすること。
- (4) 機器・システム設定
- (ア)ファイアウォール
- ① LGWAN 接続系とインターネット接続系を分割し不要な通信を制限すること。
  - ② 必要な特定通信のみを限定して許可するフィルタを実装すること。
- (イ)UTM
- ① アンチウイルス、コンテンツフィルタリング、EメールおよびWeb フィルタリング、アンチスパムなど、複数の異なる機能でネットワークのユーザーを保護すること
  - ② フィルタリングを適用して不要な通信をブロックすること
- (ウ)DHCP
- ① 庁内のネットワーク構成に応じたスコープを設計し構成すること。
  - ② 実績のあるアプライアンス製品を選定し冗長構成で導入すること。
- (エ)24 ポートスイッチ (スタック構成)
- ① スタック構成として、StackWise-480 と StackPower を用いて高可用性なインフラを構築すること
- (オ)24 ポートスイッチ
- ① 収容するサーバに 10/100/1000Base-T のネットワーク接続環境を提供すること
- (カ)グループウェアサーバ
- ① 既存ライセンスを利用し構成すること。
  - ② 既存グループウェアをアップグレード・移行すること。
  - ③ 移行にあたり既存データを引き継ぐこと。
  - ④ 市担当者と協議のうえ必要に応じてメールサーバと連携するよう構成すること。
  - ⑤ データのバックアップスケジュールを構成すること。

(キ)メールサーバ

- ① 既存 Exchange Server をアップグレード移行し、必要となるメールの送受信を行えるよう構成すること。
- ② 既存のデータを引き継ぎ、アップグレードおよび移行を行うこと。
- ③ POP/IMAP を提供できるよう設定すること。
- ④ 業務上必要となる Outlook 利用者に対し、継続し利用できる環境を準備すること。
- ⑤ 削除した過去のメールデータを復旧できる仕組みを構成すること。保持する期間、対象については協議のうえ決定すること。

(ク)WSUS サーバ

- ① 最新のアップデートが提供できるように既存サーバの調整を行うこと。
- ② 更新の対象、方法については協議のうえ決定すること。

(ケ)仮想ホストサーバ

- ① 仮想ホストとして構成し、必要となる仮想サーバが稼働するよう構成すること。
- ② 仮想ホストは、市担当者の求めるネットワーク要件を満たす構成で配置すること。
- ③ 仮想サーバの役割に応じ、仮想ホスト間での冗長性を考慮すること。

(コ)認証サーバ

- ① 既存 Active Directory ドメインの移行を行うこと。
- ② 必要となる各ネットワーク、システムより利用できるように構成すること。
- ③ ドメインコントローラは 2 台以上の冗長構成とすること。
- ④ 対象とは異なる別の Active Directory との同期を構成すること。
- ⑤ 同期の対象、頻度などは協議のうえ決定すること。

(サ)ウイルス対策サーバ

- ① 既存のライセンスを利用しウイルス対策サーバを構築すること。
- ② 最新のアップデートが提供できるように構成すること、更新の方法については市担当者との協議のうえ決定すること。

(シ)ネットワーク分離システム

- ① LGWAN 接続系とインターネット接続系を分離したまま、安全に外部 Web を利用させる仕組みを導入すること
- ② 専用ブラウザおよび専用ゲートウェイを経由した通信を利用できるよう構成すること。
- ③ 利用にあたり Active Directory による認証を行うこと。
- ④ 接続先となる専用ゲートウェイは複数台で構成し、負荷分散をおこなうこと。
- ⑤ ブラウザを閉じることで環境がリフレッシュされる構成とすること。
- ⑥ ブラウザの【お気に入り】など市担当者の求める機能については、ユーザーごと継続し利用できるよう考慮すること。

(ス)プロキシサーバ

- ① 既存のプロキシサーバの設定を踏襲し構築すること。
- ② プロキシサーバ 1 台の単一障害にも対応できる構成を考慮すること。
- ③ URL フィルタリングおよび脅威サイトブロックによるセキュリティ対策を行なうこと。
- ④ Web 閲覧におけるユーザー情報の識別ができるように構成すること。
- ⑤ 山梨県の提供するプロキシサーバを上位とする多段構成で構築すること。
- ⑥ SSL 通信も制御の対象とし構成すること。
- ⑦ 設定内容は協議のうえ決定すること。

(セ)バックアップ環境構築

- ① バックアップソフトウェアの対象サーバには、バックアップスケジュールを構成すること。
- ② 対象サーバ等のイメージおよびログなどの集約バックアップを構成すること。
- ③ バックアップの頻度や保存期間については市担当者との協議し決定すること。

(ソ)ファイル無害化／中継システム

- ① ネットワーク分離環境におけるファイルの受け渡しを実施できるよう構成すること。
  - ② 受け渡しに必要となる場合は、無害化処理を行うよう構成すること。
  - ③ 必要に応じて、承認フローを実施するよう構成すること。
  - ④ システムの利用において、Active Directory にて認証を行えるよう構成すること。
  - ⑤ メール無害化システムと連携するよう構成すること。
- (タ)メール無害化システム
- ① 受信メールを無害化メール転送するよう構成すること。
  - ② 受信した原本メールについて、メールアーカイブシステムと連携し保存されるよう構成すること。
- (チ)メールアーカイブサーバ
- ① 受信メールのアーカイブを行うよう設定すること。
- (ツ)オンデマンド印刷システム
- ① 印刷システム専用サーバとして構築すること。
  - ② プリンタサーバについては既存 IC カードでの認証印刷を可能とすること。
  - ③ ネットワーク分離環境における印刷を可能とすること。
  - ④ 印刷に必要なとなるドライバ等のインストールおよび設定を行うこと。

## 10.リース特記仕様

- (1) 保守仕様
- (ア)納品後 1 ヶ月間にハードウェアのトラブルが発生した場合、その対象機器の交換を行うこと。
  - (イ)障害時には落札業者が一次受けを行い、切り分けのうえ必要に応じ対応を行うこと。
  - (ウ)機器等であれば代行コールを行うこと。
  - (エ)業務に最低限影響のない範囲で対応を行うこと。
  - (オ)ハードウェアは 5 年間の保守対応を行うこと。なお、バックアップサーバ及び PC は対象外とする。
- (2) 特記仕様
- (ア)リース期間終了後の機器は、蕪崎市の指示に従い、無償にて一部譲渡又は引取りを行うこと。
  - (イ)納品完了時にリース物件納品完了書を提出すること。
  - (ウ)世界的な半導体及びメモリ不足により納入完了日までに納入が困難となった場合は、賃貸借開始時期に関し蕪崎市と協議できるものとする。
  - (エ)その他一般事項については協議の上決定を行うこと。

## 11.提出書類

### ・入札日 3 営業日前

同等品がある場合は、入札日3営業日前までに、同等品申請書を提出し、総務課契約管財担当の承認を受けること。

### ・契約時（落札者のみ）

- (1) 現場代理人及び主任技術者届
- (2) 実施工程表
- (3) 導入構成シート（サーバ、ソフトウェア設定書等含む）
- (4) 情報処理安全確保支援士登録証（写）2 名分 各 1 部

## 12.その他

- (1) 第三者賃貸借契約を希望する場合は、入札参加申出時に利用する業者について書面にて申し出ること。
- (2) この仕様書に定めのない事項については、蕪崎市と協議の上決定すること。

## 担当者

山梨県韮崎市水神一丁目3番1号

機器設定・仕様に関すること： デジタル戦略課 DX・行革担当 0551-45-9163

入札・契約に関すること： 総務課契約管財担当 0551-45-9367